

2018年7月吉日

地球観測に関する政府間会合（GEO）本会合及びその関連会議等（GEOWeek2018）
における展示募集のお知らせ

文部科学省研究開発局環境エネルギー課
GEOWeek2018 展示担当

文部科学省は、国立京都国際会館（京都府京都市左京区）で開催予定の GEO 本会合^{*1}及びその関連会議（通称、GEOWeek2018。会期：2018年10月29日（月）～11月2日（金））において、同会場内に展示スペース（展示期間：10月30日（火）～11月1日（木）午前）を設置します。

GEOWeek2018には、地球観測データを用いて、生物多様性と生態系の持続可能性、災害強靱性、エネルギー・鉱物資源管理、食糧安全保障・持続可能な農業、インフラ・交通管理、公衆衛生監視、持続可能な都市開発、水資源管理、気候変動等の社会課題・ニーズに対応する様々なプロジェクトに関わる各国政府、学术界、産業界等^{*2}の関係者600名程度（想定）が世界各地から集結します。

今回の GEO 本会合では、GEO の優先連携3分野である（1）持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs）（2）パリ協定（3）仙台防災枠組2015-2030に特化した内容を扱う予定です。

展示スペースでは、「日本の地球観測におけるSDGs・気候変動・防災への貢献」をテーマに、我が国の産官学の地球観測に関する現在の取組等を積極的にPRし、関連企業及び機関との連携に役立てていただく場となるよう企画を進めております。

GEOWeek2018での展示を希望される企業・団体の皆様は、別紙1の募集要項をご確認の上、電子メールにてお申込みください。本募集結果をもとに、後日、展示決定企業・団体と詳細な調整を行う予定です。なお、応募多数の場合は、ご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

記

1. 募集事項：GEO Week2018 展示スペースにおける展示
2. 回答方法：別添の申込書に記入の上、提出期限までに電子メールにてご返送ください。
3. 提出期限：2018年8月10日（金）
4. 提出・問合せ先：文部科学省研究開発局環境エネルギー課 奥山、平田、奈良、佐藤
Tel: 03-6734-4181
E-mail: kankyou@mext.go.jp

※1 GEO 本会合とは

平成15年6月に開催されたG8エビアンサミットにおいて、全球地球観測の重要性が確認され、平成16年4月に開催された第2回地球観測サミットにおいて、「全球地球観測システム(GEOSS)」の範囲と意図を定義した枠組み文書を採択。平成17年2月に開催された第3回地球観測サミットにおいて「GEOSS10年実施計画」が採択されるとともに、GEOSS推進のための枠組として「地球観測に関する政府間会合(GEO)」が発足した。日本は、長年にわたり執行委員国を務めるなど主導的な役割を果たしてきたところであるが、我が国のプレゼンスの一層の向上を図るため、第15回GEO本会合を京都にて開催することとなった。GEOでは、優先連携3分野として(1)持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)(2)気候変動-温室効果ガス観測(3)防災を掲げている。GEO本会合は、約100カ国の参加国、約120の参加機関、GEO事務局等が参加する年に一度の総会で、基調講演やパネルディスカッションに加え、サイドイベントや展示が一週間にわたって盛大に行われる。

(関連情報)

GEO Week 2018 公式ウェブサイト

<http://www.earthobservations.org/geo15.php?t=home>

GEOHighlight2016-2017

http://www.earthobservations.org/documents/geo_xiv/GEO%20Highlights%202016-2017.pdf

GEO Week 2017 公式ウェブサイト

<http://www.earthobservations.org/geo14.php?t=schedule>

GEO Week 2017 の会場写真

<https://www.flickr.com/photos/grouponearthobservations/collections/72157662310028598/>

※2 過去の参加者

各国政府：米国、欧州委員会、南アフリカ、中国等

学術界：CEOS、IEEE、Belmont Forum、Future Earth等

産業界：Airbus、Digital Globe、Lockheed Martin等 (米国開催時)



2017年GEO展示の様子(右：日本ブース内の様子*今年は2017年の4倍の120㎡程度の規模を予定)

出展企業・団体募集要項

I. 展示概要

- (1) 場所：国立京都国際会館（京都府京都市左京区岩倉大鷲町4-2-2）アネックスホール
- (2) 出展期間：10月30日（火）～11月1日（木）午前
- (3) 出展料：出展料・展示ブース費用：無料（文部科学省負担）
その他必要機材等： 有料（各出展者様にてレンタル料等負担）
※展示ブース（別添①のイメージ図参照）は文部科学省負担で用意いたしますが、
その他必要機材等（展示台や映像モニター等）については、持込んでいただく、
またはレンタル代金をご負担いただきます。予めご了承ください。
※必要機材等の有料レンタルについては別添②をご参照ください。
- (4) 日本展示テーマ：「日本の地球観測における SDGs・気候変動・防災への貢献」
- (5) 日本展示スペース：合計 120 m²程度
- (6) 構成：GEO に関係する国内企業・団体等による展示を検討中。
- (7) 備考：展示内容については「英語」での作成・説明をお願いします。
日本展示スペース全体のレイアウトは、本募集結果を踏まえて、文部科学省が決定
します。展示は一般公開されます。
*上記仕様については、今後の調整等により変更される可能性があります。

II. 応募要件

展示スペースの利用にあたっては、以下の要件を満たす必要があります。

1. 展示は、我が国が取り組んでいることを国際的にアピールし、GEO 本会合のテーマに合致するものであること。
2. 特定の国、組織、個人等を批判することを目的とするものではないこと。
3. 営利を目的（例えば物品販売等）としないこと。
4. 事務局が撮影した開催風景写真等について、展示スペースに係るウェブサイト及び制作物への掲載に同意すること。
5. 展示物の発送、掲示、撤収は事務局の指示のもと出展企業・団体が責任を持って行うこと。
6. 展示スペースの利用にあたっての経費（人件費、宿泊費、交通費、資料等の送料、備品代等）を自己負担すること。

*上記仕様については、今後の調整等により追加・変更される可能性があります。

III. ポスター作成要領

- (1) サイズ：A0（縦 1189 mm×横 841 mm）
※日本展示全体の印刷様式を統一するため、電子媒体で提出いただき、印刷は委託業者が行います。印刷費用は別途請求させていただきます。
- (2) ポスター上限枚数：省庁・研究開発法人 4 枚、民間企業・大学等 2 枚
※応募多数の場合、別途調整をお願いする可能性があります。ご了承ください。
- (3) 当日のポスターの設置は、委託業者が行います。